

概要

夜の高山が寂しくなっていることを課題と捉え、観光客の意識調査を行い、そこから導いた夜を楽しむプラン「美夜斐・みやび」を提案する。

発表内容

観光産業による活性化が重要であり、特に宿泊客とリピーターを増加させる重要性から「夜の魅力」をもっと多くの人に伝え、夜ならではの企画を提案する。

また、アンケート調査をファミリー層、女性グループ、外国人を対象に実施し、夜イベント参加の問題点として駐車場所、移動交通手段、安全確保が浮き彫りとなった。

夜観光の充実プランとして、星空をピックアップしたインスタ映えする高山らしさを再発見し、「星+四季」で高山の夜を満喫するプランを料金千円から

二千円で、人数20人程度、所要時間1時間半から2時間を月1回で実施。情報宣伝などの課題もあるがファミリー層を中心に提案する。さらに、若者が地元根付くための視点を深く考えた。



■高山工業高校

テーマ

高山市とインフラストラクチャー

概要

少子高齢化と人口流出の課題において、「人を増やす・人を呼び込む」ためのインフラ整備・魅力発信・ICTアーン、Uターンへの取り組みの充実、さら

に自然エネルギー活用による地産地消について考える。

発表内容

インフラストラクチャーとは生活や生産経済活動において、基礎条件である道路・交通・病院等々の社会資本施設全般を広く意味する用語である。高山市の2020年人口ピラミッド推計では40歳未満人口は総人口の約30%にとどまる。人を呼び込むためには、①道路交通網の充実、J R 鉄道の充実（発着数の増大）、②家賃水準の引き下げ見直しと住環境（面積・部屋構成など）の改善が求められる。



る。

自然エネルギー活用では私たちは小さな水路を利用しての「木製下掛け水車発電機」による発電実験に取り組んだ。ここからの発電を鳥獣害対策設備としての青色LED電源とするなどを考える。

■議長総括（まとめ）

それぞれが輝かしい実践の中で発表していただいたことを頼もしく、また、すべての発案が郷土への愛が原点になっていることを嬉しく思いました。

第二部では、人口減や若者流出の問題、また議員がドキドキするような議会への質問もありました。このような機会が議会への理解を深めていただくことにつながり、私たちも若い人たちがどういう考えを持っているかがよくわかりました。皆さんには洋々とした未来が拓かれています。本日交わした意見

をぜひ実行してみてください。一歩踏み出せば前とは違う景色がきつと見えるはずですよ。そしてまたもう一歩踏み出す。そうして変わっていく景色の中で人生の意義が生まれてくるのだろ

うと思っています。これからの人生、都会で過ごす時期もあるかもしれませんが、必ず高山に戻ってきてください。皆さんのその瑞々しい力が高山を元気にしてくれ

ます。また、高山で就職を考えている皆さん、市民は大歓迎です。議会も皆さん

が住んで良かったと思われれるまちづくりを全力で取り組んでまいります。

参加者の皆さんと

